

防犯教本3

身边防犯1

基礎知識編



日本防犯診断士協会

目 次

第一章 身辺防犯の基礎知識

身辺防犯の概要	2
身辺防犯と2つの理論	4
存在するリスクと発生するリスク	6
身辺犯罪の動機と要因	8
身辺防犯の基本/三つの防犯力	10
体感レーダー	12
命を守る危機脱出力	14

第二章 凶悪犯罪

第1節 殺人/殺人の概要	16
お金が主な動機の殺人/被害回避法	20
被害者と加害者の関係/命の守りかた	22
性が主な動機の殺人/被害回避法	24
女性が命を守る要点	25
心・精神の異常に起因する殺人/命の守り方	26
第2節 強盗/強盗の概要	30
データ1/データ2/データ3	31

第三章 性犯罪・性関連犯罪

性犯罪の概要	36
レイプ犯罪の特徴	38
レイプ犯罪/被害回避の要点	40
レイプの手口/車を使う手口/突然襲う手口/ほか	41
被害回避法/危険対応力/危機脱出力	44
強制わいせつの概要	48
強制わいせつ/被害回避の要点	49
セクハラ/概要/被害回避の要点	50
DVの概要/被害回避の要点	51
ストーカー犯罪の概要/被害回避の要点	52
その他の性犯罪関連/被害回避の要点	53

第四章 窃盗

窃盗犯罪の概要/窃盗の分類	56
車両関係の犯罪/自動車盗/被害回避の要点	59
バイク・自転車盗/被害回避の要点	61
車上荒し/部品狙い/ひったくり/被害回避の要点	62
白販機荒し/万引き/被害回避の要点	65

第五章 粗暴犯罪

粗暴犯罪の概要	68
暴行の概要/被害回避法	70
傷害集団暴行・リンチ/被害回避の要点	72
脅迫の概要/被害回避の要点	74
恐喝の概要/被害回避の要点	75
巻末	76

第一章 身辺防犯の基礎知識

犯罪の中には、通行中の子どもや女性を路上で突然襲う手口から、駐車場に停めた車両が狙われるものまで多種にわたる。また、遺産相続に絡んだ家族などの面識者による殺人から、通り魔的な殺人まで多様にある。

これらの犯罪は、施設防犯（侵入者抑止法）の器具や装備、システムや知識では守れない。例えば監視カメラでは守れない。金庫でも守れない。

自力防犯では、殺人や強盗、性的暴行や各種の性犯罪、窃盗、暴行など、誰もが突然遭遇する可能性の高い身辺で発生する犯罪被害の回避法を「身辺防犯」としている。

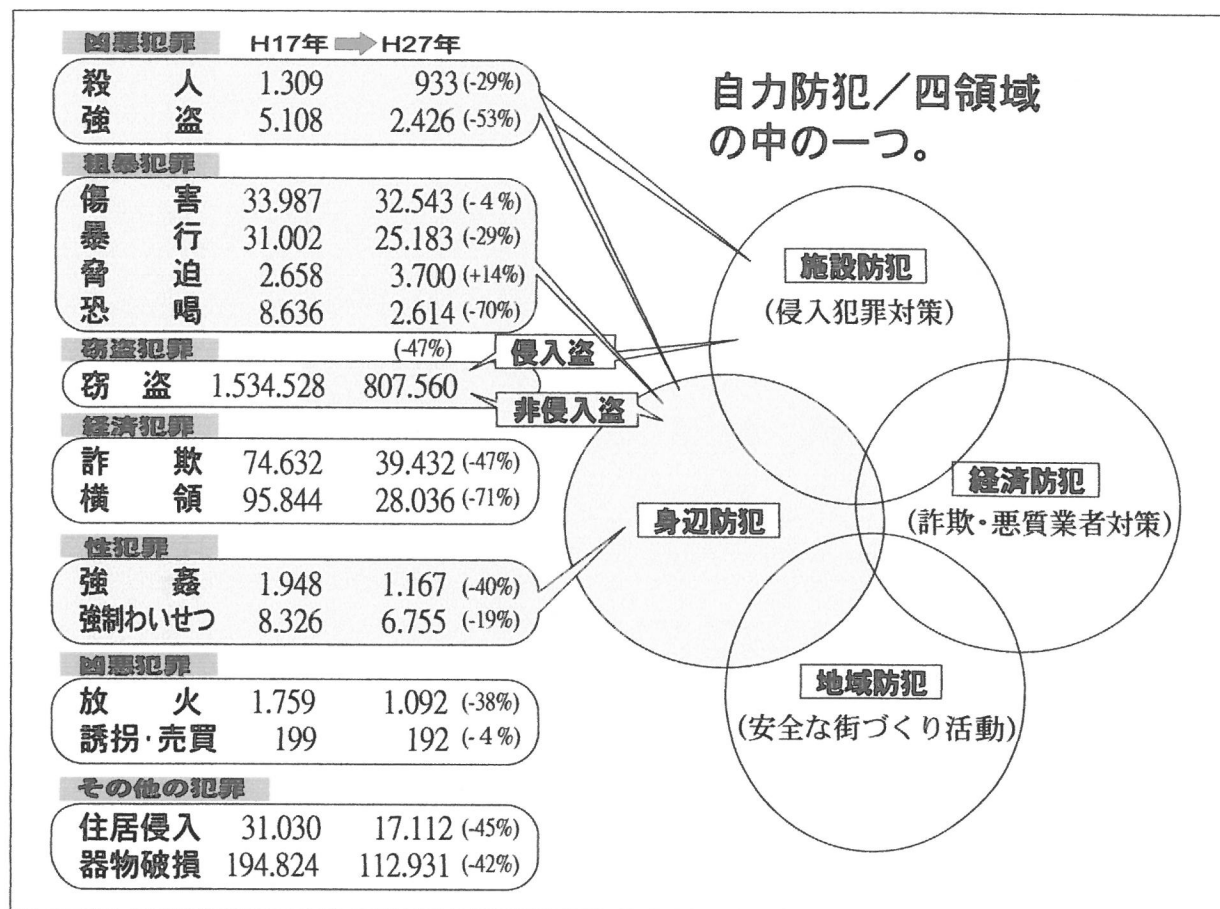
防犯とは知識を備えることから始まる。さらに、その防犯知識を盾として、武器として自分や家族の命を、体を、財産を守ることであると、これまで述べてきた。

ある文化人が「知識は最大の武器である」と論じているが、まさに身辺防犯においても犯罪に巻き込まれない為に役立つ知識や被害を避ける為の知識が強力な武器である。

身辺防犯の要点は、各罪種別に、何が危ないのか、何故危ないのか、どう危ないのか、だからどうするのか、（これを「三つの防犯力」という）を備えることにつきる。

本章では、それらの身辺防犯の基礎知識について解説する。

身近防犯の概要（侵入犯罪、経済犯罪以外の多様な犯罪の防犯）



解説

私たちの身近に発生する殺人、強盗、レイプ、窃盗（空き巣・忍び込み・居空き以外の窃盗）、放火、暴行、傷害、各種の性犯罪など、多様な罪種の被害回避法を「身近防犯」と表現している。

身近防犯には以下の特徴がある。

- ◇万引きや露出などの軽微なものから、殺人などの凶悪な犯罪まで多様で多岐にわたる。
 - ◇同じ殺人でも、動機、手口、環境、関係、場所など異なるものがある。
 - ◇いつでも、どこでも、誰にでも被害が発生するリスクがある。
 - ◇特定の人物（性別、年齢、関係、状況、職業、環境など）に存在し、発生する犯罪がある。
 - ◇すべての犯罪に効果のある防犯対策がない。
- これらの特徴を考慮し、共通した防犯対策で効果が見込める罪種を4つのカテゴリー（領域）

に分類した。

それが以下の4分類である。

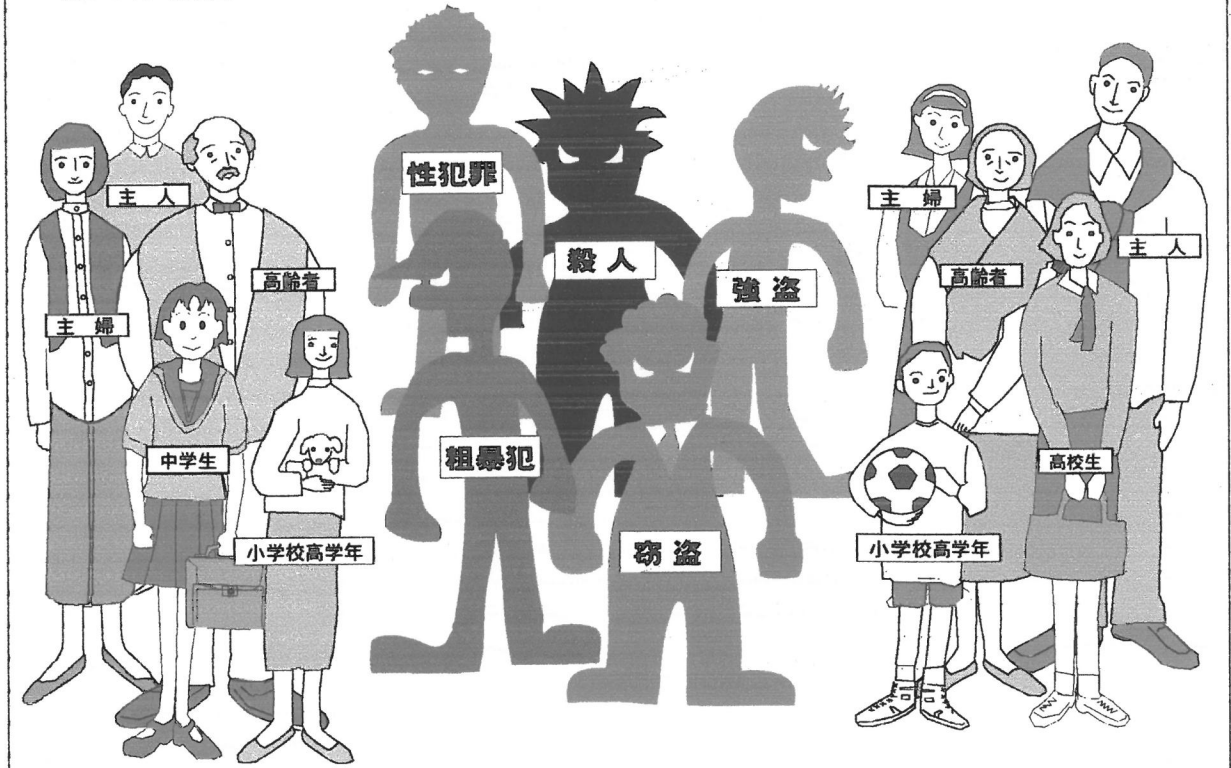
- 1 凶悪犯罪＝殺人、強盗、（レイプ）
- 2 性犯罪・性関連犯罪＝強姦（レイプ）、強制わいせつ、ストーカー、セクハラ、痴漢、わいせつ、DV（ドメスティックバイオレンス）、その他（下着泥、覗き、露出、盗撮、盗聴など）。
- 3 窃盗（非侵入盗）＝車両盗（自動車、バイク、自転車）、部品盗、車上荒し、万引き、自販機荒し、スリ、その他。
- 4 粗暴犯罪＝傷害、暴行、恐喝、脅迫、その他（イジメなど）。

本書では、4つの分類別に第一章／凶悪犯罪、第二章／性関連犯罪、第三章／窃盗、第四章／粗暴犯罪とし、各々犯罪の防犯（被害回避）の概要について解説する。

身辺防犯とは

自分や家族の身辺に発生する多様な犯罪の被害回避法。

誰もが被害にあうリスクのある犯罪群。



4つに分類した罪種の、防犯上、考慮すべき特徴は以下のとおり。

殺人（凶悪犯罪）

- ◇絶対に被害にあってはいけない犯罪。
- ◇多くは、三つの動機、「金」「性」「心・精神（怨恨・通り魔）」で発生する。
- ◇親族や面識者による犯行が80%以上。
- ◇99%は被害者を特定できる。
- ◇多くは自宅や室内で発生。／ほか

強盗（凶悪犯罪）

- ◇基本的には金品狙い。
- ◇被害がエスカレートしやすい犯罪。室内での被害は危険度が高い。
- ◇怖いのは集団組織型、外国人犯罪集団、元・暴力団関係者などによる計画的犯行。
- ◇少年らによるオヤジ狩り／ほか

性犯罪・性関連犯罪

- ◇絶対に被害にあってはならない深刻なダメー

ジを被る性的暴行（レイプ）から、被害が軽い覗きや下着泥まで多様。

- ◇女兒・女子・女性が身につけるべき必須のテーマ。防げる可能性が高い。

窃盗（侵入盗を除く）

- ◇犯罪多発の主因（治安悪化の因子）。
- ◇侵入型と非侵入型（屋内と屋外）。
- ◇侵入盗、車両関係盗、自販機荒し、万引きで全体の約80%以上を占める。
- ◇地域防犯活動のテーマの一つ。
- ◇防げる可能性が高い。

粗暴犯

- ◇イジメ、リンチ、集団暴行などは被害がエスカレートする可能性がある。
- ◇面識者による犯行が多い。
- ◇通り魔的なケースは犯罪弱者が狙われる。
- ◇家族間や親族間などでは暗数が多い。
- ◇防げないケースが多い。早期対応が決め手。